

第2次焼津市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）改定版

訂正箇所

ページ	訂正箇所
P.8	メタンの算定方法と算定結果のうち、排水処理に伴い発生する CH ₄ 排出量が、102.6 となっていたましたが、3,931 の誤りだったため訂正いたしました。 したがって、9,135 となっていたメタンの小計値を 12,963 に訂正いたしました。
P.8	一酸化二窒素の算定方法と算定結果のうち、排水処理に伴い発生する N ₂ O 排出量が、165.3 となっていたましたが、1,698 の誤りだったため訂正いたしました。 したがって、529.0 となっていたメタンの小計値を 2,061 に訂正いたしました。
P.9	上記のメタン、一酸化二窒素の訂正により、温室効果ガス排出量の推移の表中、現状年度（2021 年度）の各値を訂正いたしました。これに伴い、廃棄物処理の項目についても 15.6 から 21.0 に訂正いたしました。 また、908.5 となっていた合計値を 913.9 に訂正いたしました。 なお、2020 年度のメタン、一酸化二窒素も訂正をしております。
P.9	同様の訂正を、現状年度における基準年度との比較の表でもいたしました。この表の 2013 年度の廃棄物処理の値も 17.1 から 19.7 に訂正いたしました。
P.10	P.9 の表の訂正に伴い、グラフを訂正いたしました。
P.12	P.9 の表の訂正に伴い、将来推計の結果を訂正いたしました。 この訂正により、2013 年度から 2030 年度の削減率が 48.1%に、2013 年度から 2050 年度の削減率が 87.9%となります。
P.18	事業者向けの指標のうち「地球温暖化を意識して取り組んでいる事業者の割合」は「脱炭素の必要性を感じている事業者の割合」の誤りだったため訂正いたしました。
P.24	P.18 の指標の再掲をしている事業者の「地球温暖化を意識して取り組んでいる事業者の割合」を「脱炭素の必要性を感じている事業者の割合」に訂正いたしました。